

但馬管内の景気動向調査

2018年4～6月期実績・2018年7～9月期見通し

【特別調査 中小企業経営に関する各種支援制度の利用について】

調査の概要

1. 回答数：385（前回：452）
 2. 調査時点 2018年6月上旬
 3. 当金庫 営業店の調査員による、共通の調査表に基づく聴取り調査
 4. 分析方法：ディフュージョン・インデックス（D. I.）
景気の各項目事項について、「増加」（良い）－「減少」（悪い）の構成比の差＝判断D. I.に基づく分析
- ※全国とは、信用金庫の中央機関である信金中金が全国の信用金庫から調査した調査の結果を示している。



但馬信用金庫

1. 概況（回答数385 前回452）

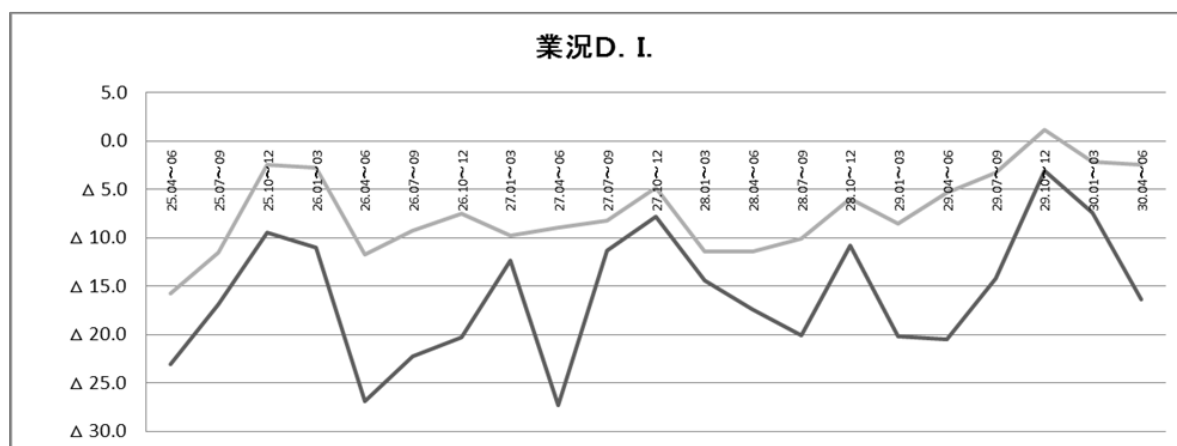
今回(4月～6月期)も全てのD.I.がマイナスとなった。特に売上額D.I.は前四半期比14.3ポイント悪化し、その他多くの指標で前四半期比悪化している。また、人手過不足D.I.は引き続きマイナスが続いており、全業種共通の大きな経営課題となっている。借入金の難易度D.I.は小幅な改善が見られ、特に設備投資には前向きな傾向が伺える。全国比較では、但馬エリアを取り巻く経営環境の厳しさは続いており、次回(7月～9月)四半期予想でも、業況D.I.は△16.4ポイントと引続き厳しい予想である。

全体	2018年4～6月期実績	前四半期比	2018年7～9月期予想
業況D. I.	△ 16.4	△ 9.0	△ 16.4
前年同期比売上額D. I.	△ 11.9	△ 8.8	-
前年同期比収益D. I.	△ 16.9	△ 7.6	-
売上額D. I.	△ 17.4	△ 14.3	△ 2.4
収益D. I.	△ 15.8	△ 9.4	△ 5.8
資金繰りD. I.	△ 20.0	△ 5.3	△ 22.6
借入金の難易度D. I.	△ 4.0	1.0	-
前期比残業時間D. I.	△ 1.0	△ 0.6	0.0
人手過不足D. I.	△ 31.9	△ 2.4	△ 31.5

業種名 \ 時期	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月(見通し)
総合			
製造業			
建設業			
卸売業			
小売業			
不動産業			
サービス業			

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調



2. 製造業（回答数 71 前回 81）

今回の調査で業況 D.I. は△4.2 となり、前四半期比 3.2 ポイント改善した。要因は、売上額 D.I.、収益 D.I. が前四半期比で改善したことにある。資金繰り D.I.、人手過不足 D.I. は引き続き悪化傾向にあるが、設備投資 D.I. は 40 ポイントを越える高水準が続いており、設備投資には前向きな傾向がある。

7月～9月期予想では、売上額 D.I.、受注残 D.I. は改善が見込まれるが、資金繰り D.I.、人手過不足 D.I. が引き続き悪化することが予想され、業況 D.I. では△9.9 ポイントまで悪化する見通しである。

製造業	2018年4～6月期実績	前四半期比	2018年7～9月期予想
業況D.I.	△ 4.2	3.2	△ 9.9
前年同期比売上額D.I.	1.4	2.6	-
前年同期比収益D.I.	△ 7.0	△ 5.8	-
売上額D.I.	△ 12.7	2.1	△ 9.9
受注残D.I.	△ 12.9	△ 1.7	△ 2.9
収益D.I.	△ 7.0	9.0	△ 8.5
販売価格D.I.	1.4	△ 11.1	1.4
原材料価格D.I.	50.7	11.2	42.3
原材料在庫D.I.	8.5	7.2	△ 1.4
資金繰りD.I.	△ 16.9	△ 9.5	△ 21.1
借入金の難易度D.I.	7.1	△ 5.2	-
前期比残業時間D.I.	△ 8.5	△ 9.7	△ 8.5
人手過不足D.I.	△ 38.0	△ 7.2	△ 35.2
現在の設備D.I.	△ 24.3	△ 2.1	-
設備投資D.I.	46.5	5.7	-
来期設備投資D.I.	46.5	△ 1.7	-

3. 建設業（回答数 87 前回 90）

今回の調査で業況 D.I. は△15.5 ポイントとなり、前四半期比 8.8 ポイント悪化した。前四半期比で売上高 D.I.、受注残 D.I. が悪化していることが要因であり、前年同期比でも売上額 D.I.、収益 D.I. は下振れしている。

7月～9月期予想では、引き続き売上額 D.I.、受注額 D.I.、施工高 D.I.、資金繰り D.I.、人手過不足 D.I. の悪化が予想され、業況 D.I. は△22.6 ポイントまで悪化する見通しである。

建設業	2018年4～6月期実績	前四半期比	2018年7～9月期予想
業況D.I.	△ 15.5	△ 8.8	△ 22.6
前年同期比売上額D.I.	△ 5.7	△ 13.6	-
前年同期比収益D.I.	△ 16.1	△ 9.4	-
売上額D.I.	△ 1.2	△ 2.3	△ 8.2
受注残D.I.	△ 2.3	△ 3.4	△ 11.8
施工高D.I.	0.0	1.1	△ 3.5
収益D.I.	△ 9.2	1.0	△ 13.1
請負価格D.I.	△ 18.4	△ 13.9	△ 10.6
材料価格D.I.	27.6	9.6	12.9
在庫D.I.	△ 5.8	1.0	△ 7.1
資金繰りD.I.	△ 9.2	4.1	△ 18.8
借入金の難易度D.I.	2.4	0.0	-
前期比残業時間D.I.	2.3	1.2	0.0
人手過不足D.I.	△ 33.7	△ 3.7	△ 34.9
現在の設備D.I.	△ 9.2	0.9	-
設備投資D.I.	28.7	△ 0.2	-
来期設備投資D.I.	29.9	1.0	-

4. 卸売業（回答数 31 前回 55）

今回の調査で業況 D.I. が△32.3 ポイントとなり、前四半期比 10.4 ポイント悪化した。要因は、収益 D.I.、仕入価格 D.I. が悪化していることにあるが、一方で販売価格 D.I. の改善により、売上額 D.I. は上振れ傾向にある。

7月～9月期予想では、販売価格 D.I.、仕入価格 D.I.、人手過不足 D.I. の改善が予想され、業況 D.I. は 9.7 ポイント改善の△22.6 ポイントまで改善する見通しである。

卸売業	2018年4～6月期実績	前四半期比	2018年7～9月期予想
業況D.I.	△ 32.3	△ 10.4	△ 22.6
前年同期比売上額D.I.	△ 3.2	20.4	-
前年同期比収益D.I.	△ 16.1	9.3	-
前年同期比販売価格D.I.	19.4	4.8	-
売上額D.I.	△ 12.9	7.1	△ 0.0
収益D.I.	△ 32.3	△ 6.8	3.2
販売価格D.I.	19.4	6.6	19.4
仕入価格D.I.	19.4	△ 4.3	25.8
在庫D.I.	16.1	7.0	12.9
資金繰りD.I.	△ 9.7	△ 2.4	△ 22.6
借入金の難易度D.I.	△ 3.2	5.9	-
前期比残業時間D.I.	0.0	5.5	△ 10.0
人手過不足D.I.	△ 22.6	△ 2.6	△ 9.7
現在の設備D.I.	△ 9.7	△ 4.2	-
設備投資D.I.	41.9	11.0	-
来期設備投資D.I.	38.7	9.6	-

5. 小売業（回答数58 前回68）

今回の調査で業況 D.I. が△31.6 ポイントとなり、前四半期比 7.7 ポイントと悪化した。前四半期比で売上額 D.I.、収益 D.I.が悪化したことが要因であるが、一方で販売価格 D.I.、仕入価格 D.I.、在庫 D.I.は改善傾向にある。

7月～9月期予想では、資金繰り D.I.、人手過不足 D.I.は引き続き厳しい状況が予想されるが、一方で販売価格 D.I.、仕入価格 D.I.の改善は続くことが予想され、売上額 D.I.、収益 D.I.の改善から、業況 D.I. は現状程度を維持する見通しである。

小売業	2018年4～6月期実績	前四半期比	2018年7～9月期予想
業況D.I.	△ 31.6	△ 7.7	△ 28.1
前年同期比売上額D.I.	△ 31.0	△ 0.2	-
前年同期比収益D.I.	△ 37.9	△ 2.6	-
前年同期比販売価格D.I.	24.1	10.9	-
売上額D.I.	△ 31.0	△ 9.0	△ 13.8
収益D.I.	△ 34.5	△ 13.9	△ 17.2
販売価格D.I.	19.0	5.7	10.3
仕入価格D.I.	27.6	4.1	15.5
在庫D.I.	3.4	4.9	△ 5.2
資金繰りD.I.	△ 32.8	14.3	△ 34.5
借入金の難易度D.I.	△ 5.5	14.2	-
前期比残業時間D.I.	△ 3.5	△ 6.5	0.0
人手過不足D.I.	△ 26.3	2.0	△ 26.3
現在の設備D.I.	△ 15.8	5.1	-
設備投資D.I.	29.3	△ 1.6	-
来期設備投資D.I.	24.1	△ 9.7	-

6. 不動産業（回答数12 前回12）

今回の調査で業況 D.I.は 0.0 ポイントとなり、前四半期比 25.0 ポイント悪化した。要因は、販売価格 D.I.、人手過不足 D.I.の改善はあるものの、在庫 D.I. が悪化したことによるものである。

7月～9月期予想では、在庫 D.I.は引き続き悪化が予想され、人手過不足 D.I.でも悪化が予想されるが、仕入価格 D.I.の改善により収益 D.I.の改善が見込まれ、業況 D.I.では 9.1 ポイントまで改善する見通しである。

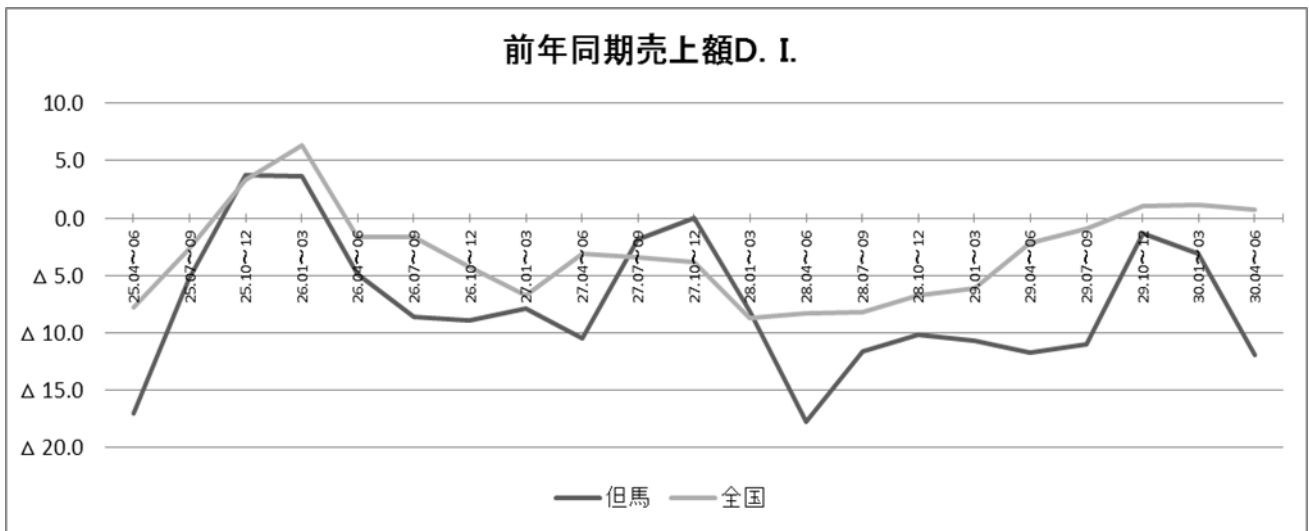
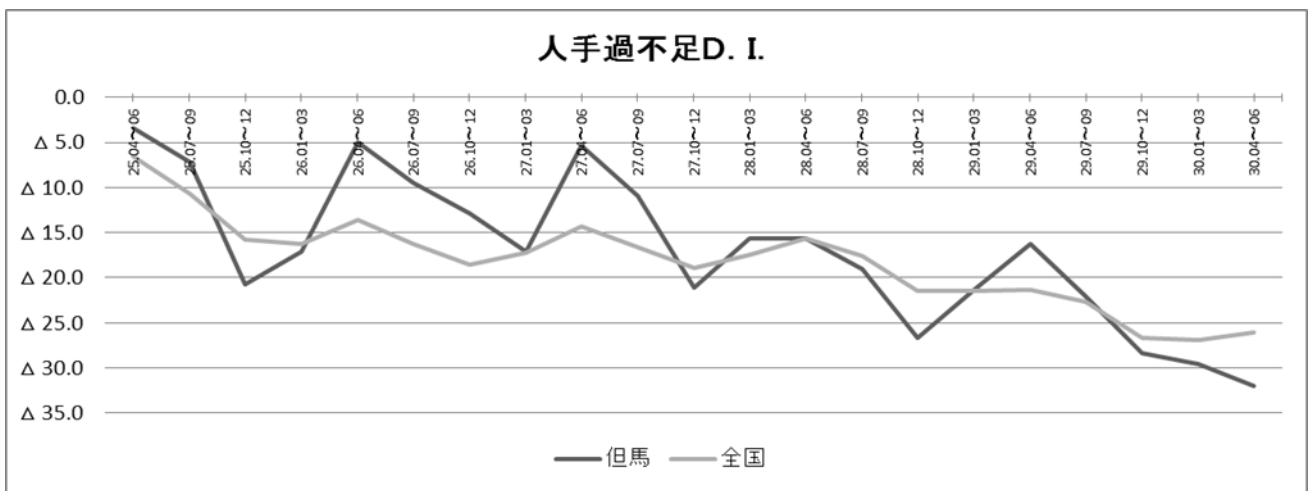
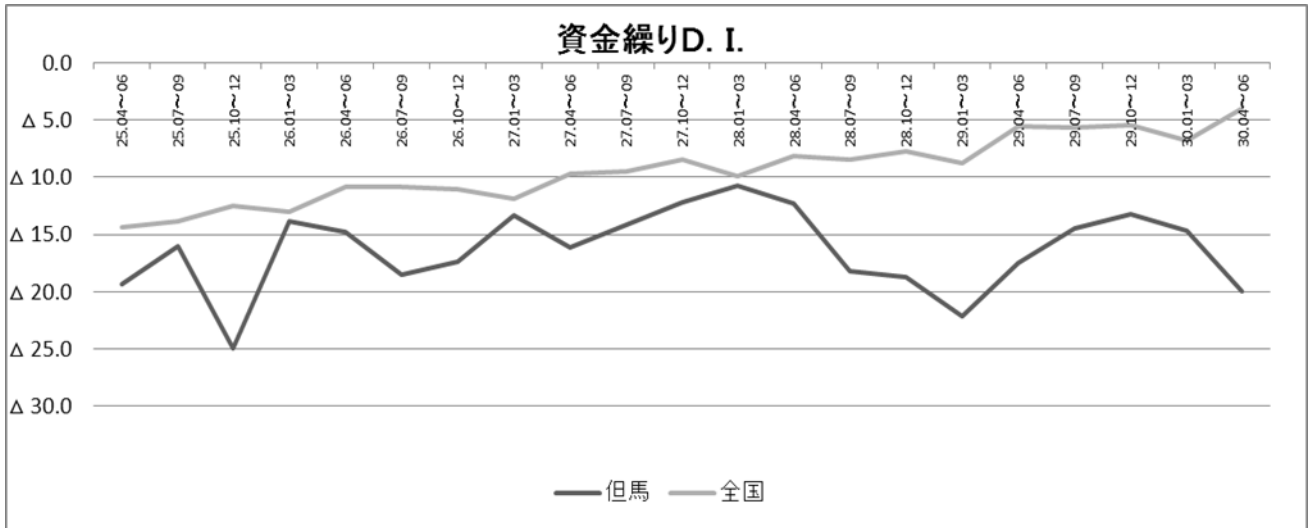
不動産業	2018年4～6月期実績	前四半期比	2018年7～9月期予想
業況D.I.	0.0	△ 25.0	9.1
前年同期比売上額D.I.	△ 8.3	△ 16.7	-
前年同期比収益D.I.	△ 16.7	△ 25.0	-
売上額D.I.	8.3	0.0	0.0
収益D.I.	8.3	0.0	16.7
販売価格D.I.	0.0	8.3	0.0
仕入価格D.I.	0.0	0.0	9.1
在庫D.I.	△ 18.2	△ 9.8	△ 27.3
資金繰りD.I.	0.0	0.0	0.0
借入金の難易度D.I.	0.0	0.0	-
前期比残業時間D.I.	0.0	△ 8.3	8.3
人手過不足D.I.	△ 16.7	8.3	△ 25.0

7. サービス業（回答数126 前回146）

今回の調査で業況 D.I. が△14.4 ポイントとなり、前四半期比△17.2 ポイントと悪化した。要因は、料金価格 D.I.、材料価格 D.I. が悪化したことにより、大幅に売上額 D.I.が悪化したことによるものである。

7月～9月期予想では、料金価格 D.I.、材料価格 D.I.の改善から売上額 D.I.、収益 D.I.は改善が見込まれるが、人手過不足 D.I.の改善が図れず、業況 D.I.では現状程度を維持する見通しである。

サービス業	2018年4～6月期実績	前四半期比	2018年7～9月期予想
業況D.I.	△ 14.4	△ 17.2	△ 11.2
前年同期比売上額D.I.	△ 17.5	△ 26.4	-
前年同期比収益D.I.	△ 13.5	△ 14.9	-
売上額D.I.	△ 28.6	△ 43.7	10.5
収益D.I.	△ 15.1	△ 28.9	1.6
料金価格D.I.	△ 11.9	△ 18.8	△ 1.6
材料価格D.I.	7.9	△ 22.6	10.4
資金繰りD.I.	△ 27.8	△ 19.4	△ 22.6
借入金の難易度D.I.	△ 14.6	△ 3.3	-
前期比残業時間D.I.	0.8	3.6	6.4
人手過不足D.I.	△ 33.6	△ 0.5	△ 35.5
現在の設備D.I.	△ 28.0	△ 1.8	-
設備投資D.I.	33.3	8.7	-
来期設備投資D.I.	34.1	5.4	-



業 種 別 D I 等 の 推 移 表

製 造 業	前年同期に比べた										前期比		借入金の 難易度	現在の 設 備	設備投資 実施割合
	業 況	売上額	収 益	売上額	受注残	収 益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り	残業時間	人 手			
29.04~06	△ 11.5	2.9	1.0	△ 14.4	△ 12.5	△ 11.5	△ 5.8	19.4	9.7	△ 4.8	△ 8.7	△ 18.4	9.8	△ 17.5	39.4
29.07~09	△ 3.7	15.0	7.5	0.0	△ 7.4	△ 3.7	3.7	22.2	△ 3.7	△ 2.4	13.4	△ 32.1	0.0	△ 11.4	53.3
29.10~12	14.1	6.5	4.3	20.4	20.4	10.8	10.9	37.0	4.3	△ 3.2	17.2	△ 38.0	8.6	△ 23.9	37.6
30.01~03	△ 7.4	△ 12	△ 12	△ 14.8	△ 11.1	△ 16.0	12.5	39.5	1.2	△ 7.4	1.2	△ 30.9	12.3	△ 22.2	40.7
30.04~06	△ 4.2	1.4	△ 7.0	△ 12.7	△ 12.9	△ 7.0	1.4	50.7	8.5	△ 16.9	△ 8.5	△ 38.0	7.1	△ 24.3	46.5
30.07~09	△ 9.9														

建 設 業	前年同期に比べた										前期比		借入金の 難易度	現在の 設 備	設備投資 実施割合	
	業 況	売上額	収 益	売上額	受注残	施行高	収 益	請負価格	材料価格	在 庫	資金繰り	残業時間				人 手
29.04~06	△ 16.5	△ 10.9	△ 10.9	△ 9.1	△ 12.7	△ 4.6	△ 10.0	△ 2.7	17.3	△ 1.8	△ 10.9	△ 4.5	△ 20.0	△ 5.5	△ 16.4	32.7
29.07~09	△ 6.9	△ 13.9	△ 12.9	△ 7.0	△ 4.0	0.0	△ 3.9	△ 4.9	10.8	1.0	△ 9.8	△ 2.9	△ 21.6	△ 7.0	△ 8.9	28.4
29.10~12	△ 1.0	8.2	2.0	13.1	7.1	7.1	2.0	△ 1.0	20.2	△ 3.1	0.0	△ 4.0	△ 31.3	△ 7.2	△ 18.2	30.3
30.01~03	△ 6.7	7.9	△ 6.7	1.1	1.1	△ 1.1	△ 10.2	△ 4.4	18.0	△ 6.8	△ 13.3	1.1	△ 30.0	2.4	△ 10.1	28.9
30.04~06	△ 15.5	△ 5.7	△ 16.1	△ 1.2	△ 2.3	0.0	△ 9.2	△ 18.4	27.6	△ 5.8	△ 9.2	2.3	△ 33.7	2.4	△ 9.2	28.7
30.07~09	△ 22.6															

卸 売 業	前年同期に比べた										前期比		借入金の 難易度	現在の 設 備	設備投資 実施割合
	業 況	売上額	収 益	販売価格	売上額	収 益	販売価格	仕入価格	在 庫	資金繰り	残業時間	人 手			
29.04~06	△ 30.9	△ 19.1	△ 26.5	16.2	△ 26.5	△ 22.1	14.7	16.2	13.2	△ 13.2	△ 3.0	△ 4.4	△ 2.9	△ 1.5	29.4
29.07~09	△ 32.1	△ 24.5	△ 26.4	5.7	△ 18.9	△ 30.2	5.7	17.0	3.8	△ 18.9	0.0	△ 5.7	△ 11.3	1.9	32.1
29.10~12	△ 12.5	△ 22.4	△ 18.6	3.4	5.1	12.1	8.5	28.8	8.5	△ 16.9	△ 3.4	△ 18.6	△ 10.3	△ 13.6	32.2
30.01~03	△ 21.8	△ 23.6	△ 25.5	14.5	△ 20.0	△ 25.5	12.7	23.6	9.1	△ 7.3	△ 5.5	△ 20.0	△ 9.1	△ 5.5	30.9
30.04~06	△ 32.3	△ 32	△ 16.1	19.4	△ 12.9	△ 32.3	19.4	19.4	16.1	△ 9.7	0.0	△ 22.6	△ 3.2	△ 9.7	41.9
30.07~09	△ 22.6														

小 売 業	前年同期に比べた										前期比		借入金の 難易度	現在の 設 備	設備投資 実施割合
	業 況	売上額	収 益	販売価格	売上額	収 益	販売価格	仕入価格	在 庫	資金繰り	残業時間	人 手			
29.04~06	△ 38.6	△ 28.9	△ 25.3	3.6	△ 42.2	△ 37.3	1.2	8.4	8.5	△ 37.8	△ 4.8	△ 22.0	△ 12.7	△ 4.8	21.7
29.07~09	△ 39.3	△ 36.1	△ 29.5	6.6	△ 16.1	△ 16.1	4.8	8.1	△ 1.6	△ 29.5	△ 9.8	△ 16.7	△ 16.4	△ 6.6	29.0
29.10~12	△ 21.3	△ 13.6	△ 17.3	11.3	7.6	△ 1.3	11.1	27.2	12.3	△ 37.0	△ 4.9	△ 12.3	△ 14.8	△ 9.9	29.6
30.01~03	△ 23.9	△ 30.9	△ 35.3	13.2	△ 22.1	△ 20.6	13.2	23.5	△ 1.5	△ 47.1	3.0	△ 28.4	△ 19.7	△ 20.9	30.9
30.04~06	△ 31.6	△ 31.0	△ 37.9	24.1	△ 31.0	△ 34.5	19.0	27.6	3.4	△ 32.8	△ 3.5	△ 26.3	△ 5.5	△ 15.8	29.3
30.07~09	△ 28.1														

不 動 産 業	前年同期に比べた										前期比		借入金 の 難易度
	業 況	売上額	収 益	売上額	収 益	販売価格	仕入価格	在 庫	資金繰り	残業時間	人 手		
29.04~06	11.8	0.0	0.0	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.7	0.0	5.9	5.9	△ 11.8	△ 6.7	
29.07~09	6.3	0.0	△ 12.5	12.5	6.3	△ 13.3	△ 6.7	△ 6.7	△ 12.5	0.0	△ 25.0	△ 6.7	
29.10~12	5.6	△ 16.7	△ 22.2	5.6	5.6	△ 11.8	△ 11.8	△ 5.9	5.6	5.6	△ 5.6	△ 11.1	
30.01~03	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	△ 8.3	0.0	△ 8.3	0.0	8.3	△ 25.0	0.0	
30.04~06	0.0	△ 8.3	△ 16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	△ 18.2	0.0	0.0	△ 16.7	0.0	
30.07~09	9.1												

サ ー ビ ス 業	前年同期に比べた										前期比		借入金 の 難易度	現在の 設 備	設備投資 実施割合
	業 況	売上額	収 益	売上額	収 益	料金価格	材料価格	資金繰り	残業時間	人 手					
29.04~06	△ 18.9	△ 11.0	△ 14.7	△ 29.3	△ 34.0	△ 7.0	11.0	△ 23.2	△ 9.4	△ 15.2	△ 8.6	△ 20.1	25.7		
29.07~09	△ 10.2	△ 8.8	△ 19.0	13.1	8.0	0.7	12.4	△ 16.9	△ 5.9	△ 25.0	△ 9.6	△ 20.4	21.9		
29.10~12	△ 2.8	3.3	△ 0.6	29.2	18.3	11.7	23.9	△ 15.6	8.4	△ 34.6	△ 9.1	△ 22.3	30.6		
30.01~03	2.8	8.9	1.4	15.2	13.8	6.9	30.5	△ 8.4	△ 2.8	△ 33.1	△ 11.3	△ 26.2	24.7		
30.04~06	△ 14.4	△ 17.5	△ 13.5	△ 28.6	△ 15.1	△ 11.9	7.9	△ 27.8	0.8	△ 33.6	△ 14.6	△ 28.0	33.3		
30.07~09	△ 11.2														

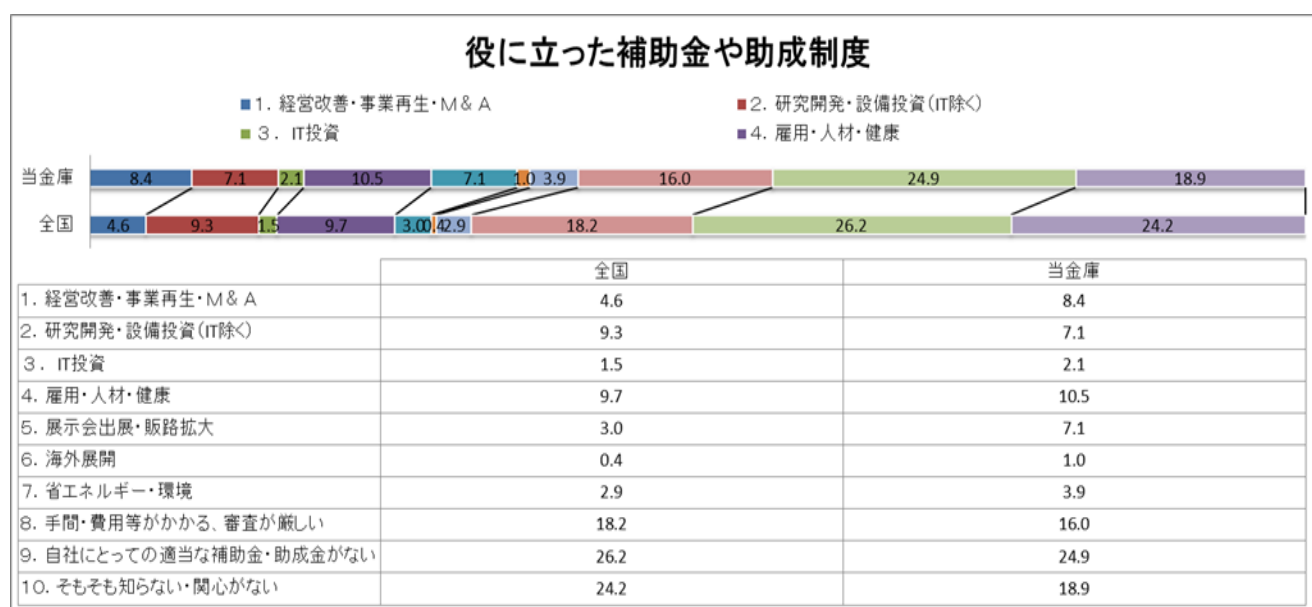
全 業 種	前年同期に比べた										前期比		借入金 の 難易度
	業 況	売上額	収 益	売上額	収 益	資金繰り	残業時間	人 手					
29.01~03	△ 20.2	△ 10.7	△ 13.0	△ 17.2	△ 17.5	△ 22.1	0.6	△ 21.4	△ 9.1				
29.04~06	△ 20.5	△ 11.7	△ 13.6	△ 23.6	△ 23.6	△ 17.5	△ 6.5	△ 16.3	△ 4.5				
29.07~09	△ 14.2	△ 10.9	△ 15.0	△ 1.6	△ 4.6	△ 14.4	△ 1.3	△ 22.1	△ 8.4				
29.10~12	△ 3.1	△ 1.3	△ 4.6	17.9	9.9	△ 13.2	4.2	△ 28.4	△ 6.7				
30.01~03	△ 7.3	△ 3.1	△ 9.3	△ 3.1	△ 6.5	△ 14.7	△ 0.4	△ 29.6	△ 5.0				
30.04~06	△ 16.4	△ 11.9	△ 16.9	△ 17.4	△ 15.8	△ 20.0	△ 1.0	△ 31.9	△ 4.0				
30.07~09	△ 16.4												

全 国	前年同期に比べた				
	業 況	売上額	収 益	資金繰り	人 手
29.01~03	△ 8.5	△ 6.1	△ 8.3	△ 8.8	△ 21.5
29.04~06	△ 5.3	△ 2.2	△ 3.8	△ 5.5	△ 21.3
29.07~09	△ 3.3	△ 0.9	△ 3.3	△ 5.6	△ 22.7
29.10~12	1.2	1.1	△ 2.6	△ 5.4	△ 26.7
30.01~03	△ 2.1	1.2	△ 4.4	△ 6.8	△ 26.9
30.04~06	△ 2.5	0.7	△ 4.0	△ 4.0	△ 26.0
30.07~09	△ 0.4				

《特別調査》 中小企業経営に関する各種支援制度について

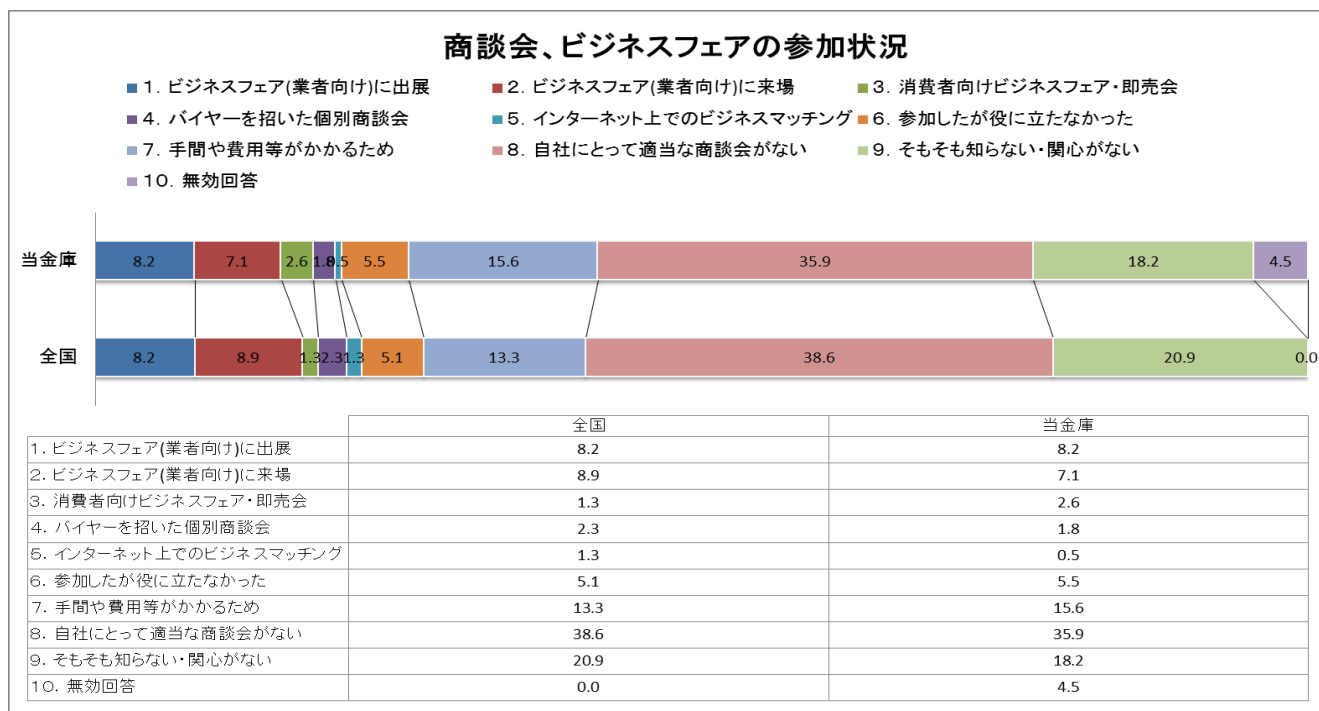
【問1】役に立った補助金・助成制度

国や都道府県が行っている各種補助金・助成制度については、No.1 からNo.7 合計の「活用したことがある」が当庫 40.2%、全国 31.4%と全国と比較し、補助金・助成金制度の活用の割合が高い。活用した制度の内訳については、「雇用・人材・健康(10.5%)」が最も高く、以下「経営改善・事業再生・M&A(8.4%)」が続いた。一方、No.8 からNo.10 合計の「活用したことがない」が当庫 59.8%、全国 68.6%であった。活用したことがない理由については、「自社にとっての適当な補助金・助成金がない(24.9%)」がもっとも高かった。以下「そもそも知らない・関心がない(18.9%)」が続いた。各種補助金・助成制度の利用割合はまだまだ低く、引き続き十分な情報提供が必要と思われる。



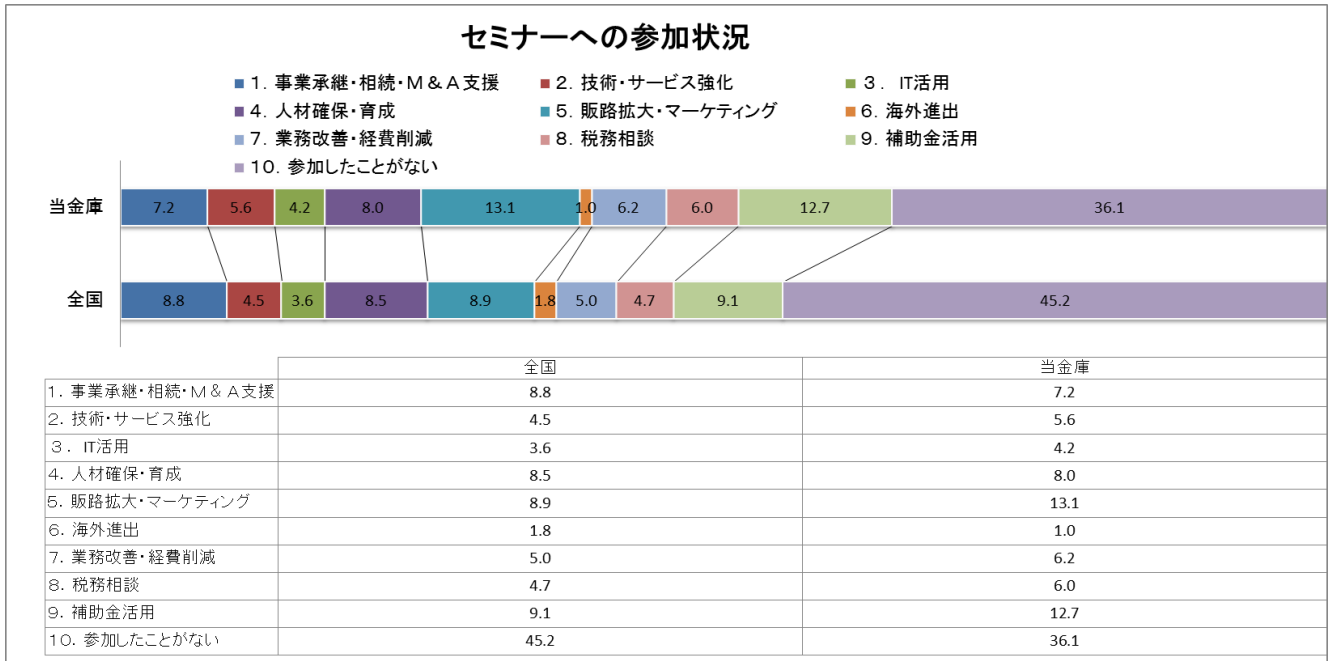
【問2】商談会やビジネスフェアの参加状況

商談会やビジネスフェアの参加状況については、No.1 からNo.6 合計の「参加したことがある」が当庫25.7%、全国27.1%と全国と比較し低かった。参加した商談会の内訳では、「ビジネスフェア(業者向け)に出展(8.2%)」が最も高く、次に「ビジネスフェア(業者向け)に来場(7.1%)」が続いた。一方、参加したことがない理由では、「自社にとって適当な商談会がない(35.9%)」が最も高く、「そもそも知らない・関心がない(18.2%)」が続いた。商談会やビジネスフェアに参加した事業者の割合はまだ低く、機会があれば参加したいという事業者も少なくないと思われることから、引き続き情報提供が必要と思われる。



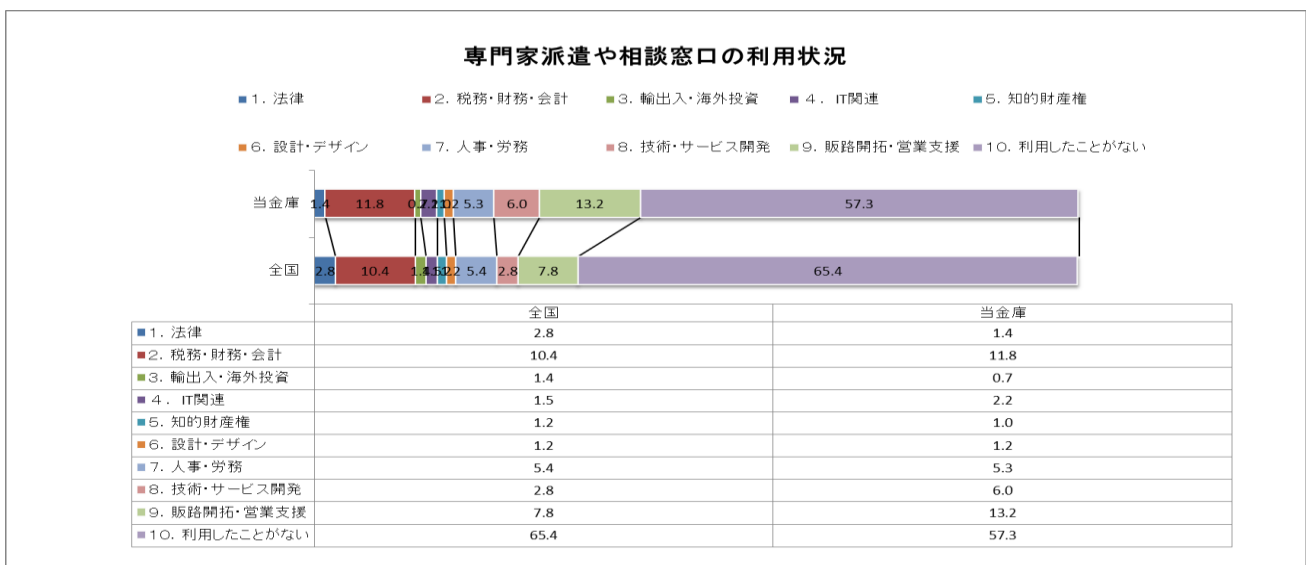
【問3】セミナーへの参加状況

セミナーの参加状況については、No.1 からNo.6 合計の「参加したことがある」が当庫 63.9%、全国 54.8%と全国と比較し参加割合は高かった。参加したセミナーの内訳としては、「販路拡大・マーケティング (13.1%)」が最も高く、次に、「補助金活用(12.7%)」、「人材確保・育成(8.0%)」、「事業承継・相続・M&A支援(7.2%)」が続いた。一方、参加したことがないという回答については、当庫(36.1%)、全国(45.2%)であった。



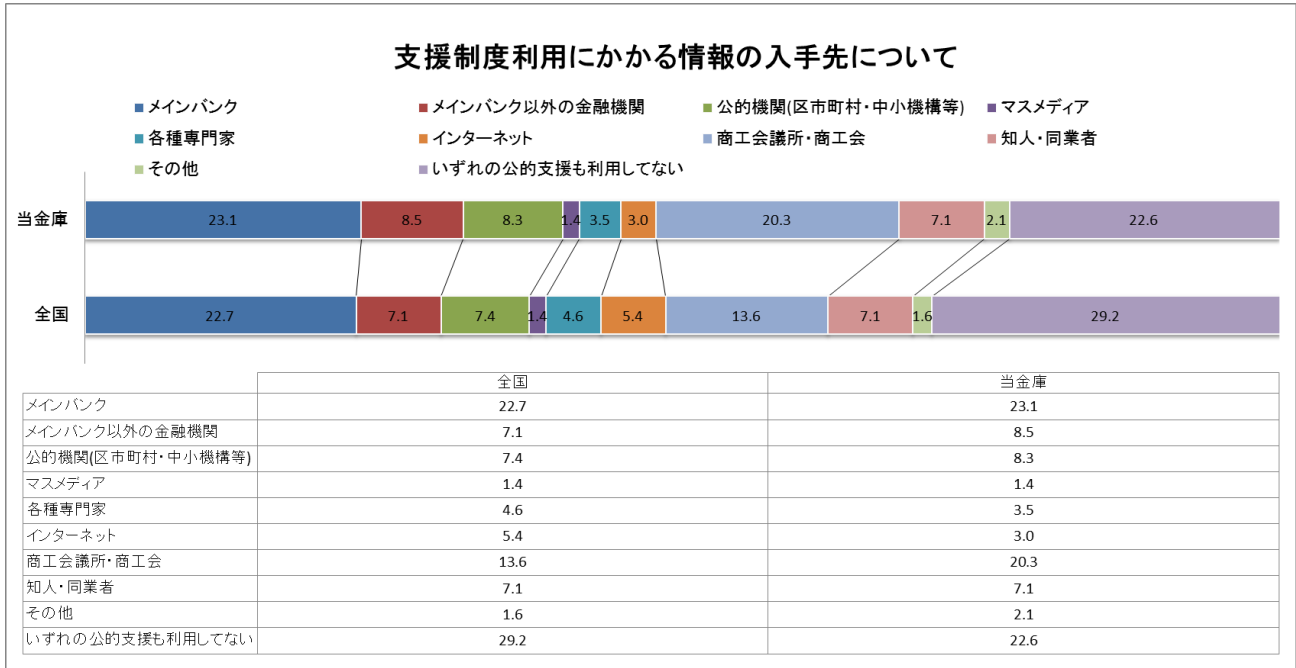
【問4】専門家派遣や相談窓口の利用状況

専門家派遣や相談窓口の利用状況については、No.1 からNo.9 合計の「利用したことがある」が当庫 42.7%、全国 34.6%と全国と比較し、利用割合は高かった。相談窓口の内訳としては、「販路開拓・営業支援 (13.2%)」が最も高く、次に、「税務・財務・会計(11.8%)」、「技術・サービス開発(6.0%)」が続いた。一方、「利用したことがない」については、当庫(57.3%)、全国(65.4%)であった。



【問5】 支援制度利用にかかる情報の入手先について

支援制度利用にかかる情報の入手先については、「メインバンク(23.1%)」がもっとも高く、以下、「商工会議所・商工会(20.3%)」、「メインバンク以外の金融機関(8.5%)」、「市町村等公的機関(8.3%)」が続いた。金融機関や商工会が情報入手先として果たすウェイトは高く、企業経営者にとって有益な支援情報を入手するための情報源となっていることが伺われる。



以 上

参考文献

- ・ 信金中央金庫 地域・中小企業研究所 「第172回全国中小企業景気動向調査」